

## 第2回 江戸川区性の平等と多様性を尊重する社会推進会議 議事要旨

日 時	令和4年12月23日（金）午後2時～4時	
場 所	オンライン開催	
次 第	1 開会挨拶 2 「附属機関等への多様な参画を推進するためのガイドラインに関する要綱」について 3 江戸川区男女共同参画推進計画推進状況調査報告書について （重点目標2及び重点目標3について） 4 閉会	
推進会議委員	会 長 横山 和子 副会長 浦岡 由美子 委 員 井内 公仁子 加納 志野 田中 寿士	松下 幸博 水田 朝也 宮本 道子 本杉 貴保 守 伸之
事務局	総務部総務課	

### 1 開会挨拶

事務局

- ・開会挨拶

会長

- ・江戸川区の議会・審議会・委員会等における女性委員比率は現在低い状態にあるが、ここからがスタートラインであると考えている。江戸川区内における性の平等と多様性を尊重する社会を実現するには、当推進会議の委員からの意見や要望等に加え、区の粘り強い頑張りが必要であるため、皆様からの引き続きのご協力をお願いしたい。

### 2 第1回推進会議の補足シートに関して江戸川区からの報告

<事務局説明>

- ・第1回推進会議の補足シートをご提出いただいた。  
一つ目は、育児休業に関する取り組みの事例紹介などの啓発のご要望をいただいた。総務課人権啓発係では、一般啓発に限ったものではあるが、「育児休業取得促進で社内を活性化！」と題する講座を新たに企画し実施する予定でいる。今後も、委託事業者と調整し講座を企画・実施していく。

二つ目は、資料のご要望をいただいた。ご要望に対応する資料としては、資料の 8 と 9 になる。資料 8 は各区における審議会等の女性委員比率の目標数値と各区の状況を記載している。

資料 9 は本区の過去 3 年間の女性の登用状況の変化を示す資料である。

また、この資料に載っていない会議体についても提示はできないのかとのご要望があったが、区の審議会等ではない様々な会議体については、現状を把握できていないため、把握については、時間をいただき、研究していく。

#### <各委員の意見>

- ・公共調達審査会については、以前より設置されているが、資料 9 では今年度未設置となっている。資料に誤りがあるのではないか。

#### <事務局説明>

- ・今年度から、公共調達審査会は公契約審査会と改称されており、今年度も引き続き設置されている。

### **3 附属機関等への多様な参画を促進するためのガイドラインに関する要綱について**

#### <事務局説明>

- ・江戸川区の附属機関等の女性委員比率は 23 区中において非常に低いという現状の中で、施策をより一層推進していくために、ガイドラインを要綱という形式で区全体の準則として制定し、庁内全体で取り組んでいく。

#### <各委員の意見>

- ・第 5 条に「育児中の委員」とあるが、育児中の委員に限定せず、介護中の委員などについても包含する必要があるのではないか。
- ・第 7 条に「総務課長は、委員の登用状況について前条の規定により提出を受けた報告書の内容に基づき推進会議に報告する」とあるが、この会議に報告されるということか。
- ・要綱にすることは非常にいいことだと思うので、この形で推進してほしい。

#### <事務局説明>

- ・毎年、推進状況調査を実施し、その状況について当推進会議にご報告しご意見をいただくことを考えている。また、当要綱で変更する必要がある点等があれば、委員の皆様からのご指摘やご意見をいただきながら時代に合った形を変えていく。
- ・要綱制定のスケジュールについては、区長決裁の後、施行という流れで進めていく。また、実際の運用は来年度からになるが、来年度の推進会議では、ガイドラインが施行された後の状況をご報告できると考えている。
- ・第 5 条の記載について、育児中という言葉が、配慮する委員を限定してしまうことにも繋がると考えられるため、限定的ではない内容に修正していく。

- ・第9条において、この要綱の施行について必要な事項は、総務部長が別に定めると規定しているため、要綱で決められていないもの等があれば、要綱の下に取扱事務要領等を定めることができる。

#### 4 江戸川区男女共同参画推進状況調査報告書（重点目標2及び重点目標3）について

##### <事務局説明>

- ・避難所運営については、女性の視点が非常に大切だということが指摘されており、阪神淡路大震災や東日本大震災の際に、年代にかかわらず、多くの女性がDVや性犯罪の被害を受けているということが明らかになっている。  
国も男女共同参画の視点からの防災ガイドラインを作り、自治体に働きかけているという状況である。

##### <各委員の意見>

- ・各学校で、男女に分けない男女混合名簿を作成したり、標準服を選択できるように進めているという項目があるが、学校によっては、入学式と卒業式で男女が分かれており、名簿も男性及び女性で分かれている。  
標準服についても、選択式を考えていないという話であったが、このことについて、どのようにとらえているのか。

##### <事務局説明>

- ・教育委員会としては、学校経営は、第一義的に校長が学校運営の責任者として当たるというのが原則である。学校には呼びかけをしているが、特に制服については、選択制を選んでいる学校もある。  
また、生徒、保護者の方々、地域の方々のご意見も聞くという話を教育委員会はしている。

##### <各委員の意見>

- ・安心安全なまちづくりについて、防犯カメラの設置を応援するという事は非常にいいことだと思う。見られているということが、犯罪等々を抑えられるのではないかと思うので、防犯カメラ設置支援は、続けてほしい。
- ・小中学校統合の学校を訪問した時に校門の外に防犯カメラが設置されていて、警察から多くの問い合わせがあるという話を聞いたが、かなり地域の中に防犯カメラは設置されているのか。
- ・男女混合名簿は、今年度から全校で作ることになっており、本校においても、今年度から完全に実施をしており、特に混乱なく運用ができています。入学式においても、男女分けずにやっている。また、標準服については、変更するまでプロセスがかかる。  
変更した学校は、A型、I型等と表記し、ジェンダーフリーにも対応している。
- ・今年度から学校の方で男女混合名簿を作ることになっているということで、とても大きな一歩だと思う。全校の中で周知されているということにとっても安心した。

- ・私の子どもが通う小学校の校長からは、今年度から中学校と同じように男女混合名簿にという話は聞いている。

小学校のP連、中学校のP連、教育委員会とで、12月の人権週間に、保護者向けの人権セミナーを開催している。過去3年間においては、新型コロナウイルスの関係で中止となったが、昨年度と、今年度については、教育委員会でオンライン開催ができるよう段取りを組んでいただいている。防犯カメラに関しては、葛西地区では、葛西防犯カメラの会が主体的に取り組んでいると思う。

- ・私の町会の中で、二つの小学校があり、避難所開設が進んでいるが、昨今のコロナ感染症の影響で活動はできなくなっている。

防犯カメラの件については、私の町会では、41ヶ所、4年前から設置している。昨年度は、斉藤猛区長が、町会・自治会支援金を出していただき、それも含めて、防犯カメラの運営に利用している。防犯カメラの数は相当増えたと感じる。防犯カメラを入れた途端に、事件性が全くなかった。防犯カメラの設置は、地域の安全安心なまちづくりに貢献していると思う。

- ・防犯カメラを設置するにあたって、東京電力の電信柱を借用して付けることが非常に多く、維持するのに町会自治会の負担が大きい。このことについて、例えば、防犯カメラ協議会、連合協議会等のようなものを作って、東京電力に、公益のための設置であるから、費用低減のはたらきかけを行っていった方がいいと思う。

- ・人権擁護委員の活動のうちの一つとして、各中学校と連携をして、今年度も人権教室を進めてきた。その中で、ある中学校の学校だよりの中で、人権週間や人権について、載せていただいたところもあり、人権尊重意識の啓発に結びつくものが掲載されたことを、とてもうれしく思った。学校そして地域の方々や様々な団体が人権について考えていただける機会と啓発をお願いしたい。

- ・公金を使って講座・講演会等の事業がなされていることについて、内容的に本当に必要なものであるかどうかの精査が必要だと思う。

また、講座・講習会の内容をオンライン化したり、後日配信するというような取り組みをすれば、会場で参加できない人たちにも必要な情報は行き届き、内容の必要性も担保され、客観的に評価も受けられると思う。

- ・災害時の女性に対する安全性の確保について、地震等の被災時に女性が危ない思いをしていたり、実際に被害に遭ったりということを知りたい。

防災委員の女性比率がとても低いことが一番課題と感じるため、確実に、女性の視点を取り入れていく対応策を迅速に講じてほしい。また、その体制づくりをどのように進めていくのかを教えてほしい。

- ・普段の日常の授業の中でも、男女共同参画ということについて取り上げ、男女共同参画の理解の促進と教育の充実を図っている。

- ・避難所運営協議会には、女性がいるのか。避難所に関して、授乳室や更衣室の設置訓練というように若い女性に目が向いているが、高齢の女性についても配慮していただきたい。更衣の介助といった介護も含めての女性に対する配慮は、やはり女性からの視点の方が、

より多く意見が聞き取れると思う。

- 資料の中で、不登校児の家庭では子どもの教育について親の関与がない、又は関心がないなどの問題を抱えているとありますが、これがすべての保護者ではないということをご理解いただきたい。
- 学校の中には生活が困難という家庭もあり、現在、江戸川区の教育委員会では、スクールソーシャルワーカーがかなり充実してきた。本校でも、2週間に1回、スクールソーシャルワーカーが訪問して、関係機関との連携を図って支援をしていく方策を練っている。
- No73について、日系移民の研究で、日本に出稼ぎに来ている日系移民の家庭では、親が工場で働きに行き、子どもがいつも家に1人でいて、将来についてのロールモデルが持てない、見えない、親の工場労働の働く人生しか見えないという、意見があったことを思い出す。
- 日本籍や外国籍の家庭に関わらず、家庭の中には、子どもに関心がないというよりも、保護者がどうしていいかわからず苦勞しているというところもある。
- No75について、現状は何も変わっていない状況である。介護保険の利用開始の際に高齢者の孤立や悲惨な生活が判明し、そこでようやく必要な相談窓口につないでいくということが多く起こっている。地域の関わりが本当に薄く、無関心になっているために、どこにどういう方が住んでいるかも把握できていないということもあると感じる。早期発見、早期解決をしていかないと、このような方がどんどん増えていくのではと危惧している。対策については、独居家庭や問題のある家庭を訪問し気づくことしかないと思う。訪問をする方が、介護関係以外でも増えてくるといいと思う。また、情報提供があったときにいち早く動いていくことも大事だと思う。
- コロナ禍で困難を抱えた人たちの支援が一番大事であり、安心安全なまちづくりの基本だと思っている。具体的な特効薬はないが、ぜひ、江戸川区の方々に頑張ってもらって、地道に問題解決に向けて活動して欲しい。
- 女性のライフサイクルについて、出産適齢期は限りがあるので、若いころから、周知や教育をしていくことが必要なのではと前回ご提案したが、現状は、国も何も具体的な取組案等を出していない。しかし、国がやっていないから江戸川区もやらなくていいという段階ではないと感じる。出産適齢期を過ぎてしまうと不妊治療にしても何にしても本当に厳しくなる。やはり自分自身のライフステージを自分で決められる材料を、若い世代の人たちに、男性も女性もあわせて持ってほしいと思う。
- アメリカで、スーパーという研究者がライフステージ論を提案しており、自分の人生をステージに分けて考えましょうということを言っているが、日本ではそこまで、人生、或いはキャリア教育というのは進んでいないのが現状だと思う。
- トイレの問題について、非常に課題だと感じている。LGBTQと言われる様々な方がいるが、見ただけではわからないことがよくある。そういった中で、女性のトイレに見た目は男性の方が入ってこられるとトラブルになることがあると思う。今は、まだまだ国も判断に迷っている中だが、だれでもトイレ等を確実に設けることで、とりあえずは現場のトラブルを避けていただきたいと思う。

## <事務局説明>

- ・各町会自治会からの要望があれば支援していくというのが、区の姿勢である。防犯カメラ設置の方は、かなり進められていると考えている。
- ・No52 安全安心まちづくり運動のこれまで実施した取り組み内容の中で、令和3年度末で、762台の防犯カメラが、区内に設置されている。  
令和4年度も引き続き設置が進んだため、この数字を大きく上回る台数が設置されている。また、令和3年度末に設置されている762台の防犯カメラの中には、小中学校の敷地内にある通学路を映している防犯カメラは含まれていない。各小学校には3台ずつ、通学路に向けたカメラが設置されており、出入口の校門にも、外に向けて設置している。中学校も同じく正門の方に向けて設置をされているので、実際にはかなり多くの台数のカメラが設置されているという状況である。
- ・えどがわ防災女性ミーティングの開催準備を危機管理部で行っている。防災対策全般に女性の意見を広く取り入れて、防災への取り組み強化につなげるという目的で、1月から毎月1回、全3回の開催を予定している。
- ・今年度から講座・講習は、すべてオンライン配信を同時に実施している。  
録画配信については講師との調整が必要となってくるため、今後、検討していきたい。
- ・避難所は113ヶ所あり、そのうち避難所運営協議会を未設置の避難所は41ヶ所あり、今後、町会や学校と協議をしながら増やしていくと防災危機管理部から聞いている。また、避難所運営協議会の会長と副会長のいずれかに、必ず女性を1人たてるという方針も聞いている。
- ・ヤングケアラーや引きこもりについても区の取り組みが始まっており、ヤングケアラーについては、区も学校と連携して支援を検討している状況である。ひきこもりについては、全数把握調査を実施しており、9000人を超える該当者がいることが把握できている。今後もそういった方々に寄り添った支援を検討していく。
- ・No73は、生活保護世帯にならないための、生活困窮家庭を対象とした事業であり、一般家庭全てを対象にした事業ではないということをご理解いただきたい。
- ・今年度、啓発事業の中で、リプロダクティブ・ヘルス/ライツという観点の講座を実施した。また、ライフプランについての講座も用意している。今後も参加者のご意見を聞きながら講座等を充実させていく。
- ・自分らしく安心して暮らせるまちづくりを、江戸川区は進めようとしている。  
国も、少子化の問題について、出産や育児だけではなく、それ以前の婚姻の部分から、若い人たちが将来に希望が持てるように、収入の面も含めて、やっとな取り組みをスタートしようとしているところだと感じている。国も江戸川区でもそういった認識のもとで、これから施策を検討していく。
- ・性別による役割分担意識の固定化等を助長しないような表現のガイドラインを現在検討しており、早ければ今年度中に何らかの形にしたいと考えている。

- ・推進会議でいただいたご意見については、区からの報告も含め、年次報告として公表する。
- ・各部の取り組みを男女共同参画、性の平等という視点で毎年チェックしてもらうことは課題解決に向けて非常に重要なことだと考えているので、今後ともお力添えをいただきたい。

## 5 その他事務局からの報告

### <事務局説明>

- ・書面での正式な苦情申出ではないが、匿名の電話でご意見が寄せられたので、条例に基づく苦情申出として取り扱いたいと考えている。内容は、オレオレ詐欺や還付金詐欺の注意喚起をする区のホームページの中で、家族間での合言葉を考えておくという被害対策の提案を記載しており、合言葉の例として母親の旧姓と記載されていたことについて、母親の旧姓という表現は、結婚したら姓を変えるのは女性だというジェンダーバイアスが掛かったものであるというご指摘であった。ホームページの当該箇所は、すでに親の旧姓という表現に変更している。

## 6 各委員より挨拶

- ・避難所におけるプライバシーの確保というのが、避難者間のパーテーションの設置が主流であるが、上から覗かれる可能性もあり、プライバシーを考慮してドーム型やルーム型等を検討してほしい。発言の機会を与えていただきましてありがとうございます。
- ・自分の意見を区政に反映できるというのは貴重な機会で、非常にありがたいと思う。
- ・校長としては、様々な区民の方の意見を聞いて、校長間でも情報共有し、ご理解いただけるように周知していきたい。
- ・皆さんの実のある話をお聞きすることができて、また、思っていることが区政に反映されるという、ある意味での重い立場だと思うと、身を引き締めてさらに頑張りたいと思う。
- ・非常に勉強になりました。私は、安全安心なまちづくりということを常に思っておりますが、特に、昨今聞いた話では、SNSの影響について、もっと危機管理を区としてもやっていった方がいいかなと思う。また、町でもそういった危機管理をしていった方がいいという意見も聞いているので、勉強していきたいなと思っております。
- ・PTAという立場で子どもたちを主体に、我々保護者についても様々な研修会も行っておりますが、限られた中での視点からであったので、このような形で、多方面からお話を伺えるのは今後の保護者、それから子どもたちの教育環境にも、すごく有意義な時間であったなと思っている。
- ・推進会議に参加することで、区が行っている施策や考えを知ることができ、これらの課題について、しっかり考える時間をいただけたと思っている。本当に貴重な機会をいただいて感謝しております。
- ・高齢者にとっても暮らしやすいまち、安心して暮らせるまちということで、江戸川区で

10年以上ケアマネージャーをやっておりますが、困難事例について、その困難がどんどん複雑になっていると感じる。介護保険だけではなかなか解決できないようなことが増えている。

これはおそらく、高齢者だけじゃなく、いろいろな複雑な内容があり、若い方も、子育て世帯も、暮らしやすいまちと言いつらい部分が違う目線で増えていっていると感じている。しかし、諦めずに、行政とともに、区民の方も取り組んでいくことはとても大事なことだと思うので、これからも江戸川区で頑張って業務をしていきたいと思っております。

- ・2回にわたる会議で皆様のご意見を伺うことができ、私自身もいろいろと勉強させていただいた。今日伺ったこと、また行政から伺ったことを生かして、地元で業務をして参りたい。
- ・本日はオンラインで会議を行いました。オンラインの良い面が会議運営に現れたと思っています。

## 7 総務部長より挨拶

- ・皆様のご意見を、それぞれの部署にも伝え、区政に反映していきたい。